



まちづくり検討会議 ニュースレター vol.1

令和7年
6月

「まちづくり検討会議」って？

「まちづくり検討会議」は、**地域の方と学生が直接対話し、学生が地域の声を聞いた上で、地域のニーズや課題に対して学生からアイデアを提案し、提案した内容を地域と学生と一緒に実践するという活動**です。

令和7年度に連携するのは春日小学校区と中津小学校区の2地区。春日小学校区では、**世代を超えてものづくりや学び、交流を通して楽しめる「手づくりまつり」**を学生と地域の方が一緒に企画し、運営します。また、「手づくりまつり」の**チラシ**を見た人が参加してみたいくなるように、**学生視点でデザイン**し、地域の方にPRします。

令和7年6月11日（水）に、地域の方と学生が顔合わせをし、春日小学校区のことや、今回の活動内容の詳細を学生に知ってもらうための、第1回まちづくり検討会議を実施しました。

まちづくり検討会議 **3** ステップ



まずは春日小学校区を知ろう！

◆第1回会議（ガイダンス）概要

日時 2025.6.11（水）19:00～21:00

会場 春日コミュニティセンター

参加者数 学生 23名
地域の方 16名

プログラム

- 1 検討会議趣旨説明
- 2 地域の紹介
- 3 自己紹介
- 4 活動内容の説明・グループワーク
- 5 今後の調整

第1回目の会議では、市職員からまちづくり検討会議の趣旨説明を行った後、春日小学校区地域協議会の小河会長から、春日小学校区についてご説明いただきました。その後、これから活動していくメンバーのことを知るために参加者全員で自己紹介を行いました。

学生に、まちづくり検討会議の参加理由を伺ったところ「**生まれ育った茨木に貢献したい！**」という理由や「**春日小学校区の活性化に携わりたい！**」など参加の意気込みを聞くことができました。また、地域の方は「**フレッシュな気持ちで頑張りたい！**」「**ワクワクしている**」など、これからの学生との連携を楽しみにされている方がたくさんいらっしゃいました。



ものづくり、学び、交流を楽しめる

手づくりまつりを企画しよう！

全員で自己紹介した後は、「手づくりまつり」の内容を考えるため、4つに分かれてグループワークを行いました。ゲーム系・体験系や学べる系、工作系など項目ごとに自由にアイデアを出し合いました。

ゲーム系・体験のアイデアでは、「VR空間づくり、ペットボトルを使ったモルック体験、オリジナルの茨木かるた、ストロー笛」、学べる系では、「段ボール巨大迷路、春日小学校クイズ、お店の人になり、お店体験をする」、工作系では、「お手玉やあみものなどの昔遊びの工作、家でごみを使って楽器作り、春日地区オリジナルの地図づくり」など、大学生ならではのユニークなアイデアがたくさん出ました。

また、開催時期に関し、「餅つき大会と同時開催するかどうか」については、メリットの面では「人が集まる、大学生が餅つきのつき手になれる、餅つきの待ち時間を有効活用できる」などの意見が出ました。一方、デメリットとしては、「運営の人手が少なくなる、同時開催だと告知しきれない、準備が大変」などの意見が出ました。同時開催する場合の対策としては、「時間を午前、午後で分ける」また、「2 DAYS開催にして日程をずらす」などの意見もありました。

メリット、デメリットどちらの意見も出たため、この意見を踏まえて地域の方に最終の判断をしていただきたいと思います。



今後に向けて

今回は、ガイダンスで出たアイデアをもとに、もう一度地域と学生で企画内容について作戦会議をしていきます。

出てきたアイデアを組み合わせても面白そうです。素敵な企画が出るよう、みんなで頑張りましょう！！

参加者の声



立命館大学 穂積さん

検討会議では、年代の違う地域の方や、様々なバックグラウンドをもつ大学生の方と交流ができた。自分とは違う視点などを新たに吸収できたり、逆に自分が発信したことが、貴重な経験になった。今後の会議だけでなく、その先の継続的な交流を深めていきたい。

Q.第1回検討会議に参加していかがでしたか？